

# 漢詩大会

## 特別賞作

(審査員、高橋松幹、石山竹揚、井門松桂)  
(各、五首一首、三首十首、一首十五首を累計し、高点順位)

### (1) 愛媛県知事賞

道後温泉

青野 光風 (吹城吟社)

寥寥太鼓響清晨

寥寥たる太鼓 清晨に響き

振鷺閣邊行客連

振鷺閣辺 行客連なる

道後街衢挈巾盥

道後の街衢 巾盥を挈げ

四時相稱浴温泉

四時 相称う温泉に浴するに

### (2) 愛媛県教育長賞

賞重陽菊

日野 松誠 (五色吟社)

陰陽回又值重陽

陰陽 回りて又 重陽に値う

籬菊已開清露香

籬菊 已に開いて清露香し

方好今宵想彭澤

方に好し 今宵 彭沢を想い

浮花映月醉杯觴

花を浮かべ月を映して  
杯觴に酔うは

### (3) 愛媛県文化協会会長賞

愛媛漢詩大會所感

井上 秀眞 (五色吟社)

五色濱涯會一堂

五色浜涯 一堂に会し

爭杯鬪句且清狂

杯を争い 句を鬪わし 且く清狂す

豫州鷗鷺繼風雅

予州の鷗鷺 風雅を継ぎ

斯道共追回盛昌

斯道 共に追うて 盛昌を回らさん

### (4) 伊予市市長賞

第三十五回愛媛漢詩大會所感

野中 翠清 (吹城吟社)

寒風吹度豫灘邊

寒風 吹き度る予灘の辺

共凭綺樓披雅筵

共に綺楼に凭りて雅筵を披く

三十五年人又老

三十五年 人又老ゆ

白頭騷客染華箋

白頭の騷客 華箋を染む

(5) 伊予市教育長賞

秋夜對月

笠崎麗華（六六庵吟社）

蟲聲唧唧桂香幽

虫声 唧々 桂香幽なり

明月玲瓏一望秋

明月 玲瓏 一望の秋

獨占清光十三夜

清光を獨占す十三夜

傾杯賞翫勝王侯

杯を傾け賞翫すれば王侯に勝らん

(6) 伊予市文化協会会長賞

讚小原六六庵先生

片岡竹杖（六六庵吟社）

凄然戰禍及人心

凄然たる戦禍 人心に及び

憂慮將來導正襟

将来を憂慮し正襟を導く

遺篇萬首各珠玉

遺篇の万首 各珠玉

流麗墨痕含蓄深

流麗 墨痕 含蓄深し

(7) 全日本漢詩連盟会長賞

仰金子山城趾

横山功大（八雲吟社）

金子英雄此地暝

金子の英雄 此の地に暝し

武勳永逗墓苔青

武勳 永く逗め 墓苔青し

落城悲憤今猶昔

落城の悲憤 今猶お昔

殘月寥寥照梵庭

残月 寥寥 梵庭を照らす

(8) 四国漢詩連盟会長賞

訪阿波神山町枝垂櫻里

寫川拓仙（癸丑吟社）

邑里山川韶氣盈

邑里の山川 韶氣盈ち

紅雲翻處聽新鶯

紅雲 翻る處 新鶯を聞く

花開花落旬餘事

花開き花落つるは旬余の事

盡日盤遊只看櫻

尽日 盤遊して只看る

(9) 愛媛漢詩連盟会長賞

瀬戸内海秋

玉井美智子（吹城吟社）

潮風颯颯度青螺

潮風颯々 青螺を渡る

奄盡紅楓對碧波

紅楓を奄い尽くす碧波に対す

釣艇歸灣昏暮近

釣艇湾に帰らんとして昏暮近し

一天唯見雁行過

一天唯 雁行過ぐるを見るのみ

(10) 伊藤竹外賞

客中迎春

半田竹柳（六六庵吟社）

東風一陣夜三更

東風 一陣 夜三更

客舍淒涼睡不成

客舍 淒涼として 睡り成らず

還迂新春異郷地

還た新春を迂う異郷の地

故園萬里亂山橫

故園 万里 乱山横たう



道後温泉